

会 議 記 録

会議名	第1回 芦別市総合庁舎整備庁内検討会議
-----	---------------------

日 時	令和元年10月17日(木) 午後4時00分から午後5時00分まで	場 所	市役所 3階第1会議室
-----	-------------------------------------	-----	----------------

第1回 検討会議の内容について、次のとおり記録したものである。	
会 議 の 概 要	
1 開会(危機対策課長) 開会とあわせて危機対策課長から挨拶。	
【危機対策課長あいさつの要旨】 本日は、お忙しいところ「第1回 市総合庁舎整備庁内検討会議」にお集まりいただきありがとうございます。 この検討会議につきましては、市総合庁舎の整備を進めていくにあたり、庁内での意見をもらうために組織したものです。 今後何度かお集まりいただき、意見を出していただきますので、みなさんよろしくお願ひします。	
【説明】以下、危機対策課長	
<ul style="list-style-type: none">・総合庁舎の整備・検討については、これまで総務課において検討・庁舎建設後50年が経過し、各種設備の老朽化により、今後、多額の経費がかかることが予想されている・熊本地震を契機として、国は、改めて災害発生時に庁舎(行政の中核拠点)が有効に機能しなければならないことを再認識し、庁舎の耐震化が未実施の市町村においては、庁舎の建替えを緊急に実施するため、平成29年に「市町村役場機能緊急保全事業」を創設した・事業の対象となるのは、昭和56年の新耐震基準導入前に建設され、耐震化が未実施の市町村の本庁舎の建替え事業・平成30年3月定例市議会総務常任委員会において、「市総合庁舎整備のあり方について(案)」により、既存の施設に入る方法(市立芦別病院)、耐震化する方法、建て替える方法などのうち、建て替えることが最も有効な方法と考えていることを示した・しかし、建て替えには自主財源の確保も必要であることから、行財政改革と並行して、自主財源の確保について検討を進めるとした・建設に最も有利な地方債である「市町村役場機能緊急保全事業」の対象が、令和3年3月末までに実施設計に着手した場合という見解が示され、近隣の市町でも建設する動きが加速したことから、芦別市においても本年4月に庁内検討準備委員会を作り、副市長を中心に検討した結果を市長に説明した。・結果としては、通常の進め方をした場合、令和3年3月末までに実施設計着	

手は難しいと説明。

- ・本年6月開催の定例市議会総務常任委員会においても同様の説明を行い、制度に乗ることは難しいが、庁舎の整備は必要であることから、制度延長の可能性も考え、その時に事業を実施できる体制をとれるように進めると説明した。(基本構想、基本計画まで、その後は財源の状況を見ながら進める。)
- ・9月に行われた庁議において、令和3年3月までの実施設計の着手に間に合うよう努力をするようにと市長より話があり現在に至る。
- ・進め方は、庁内検討会議、市民検討会議により意見をもらい進める。
- ・この会議では、今後建設する庁舎を長い時間利用することとなる若い方の意見、それから、女性の目線による意見も取り入れようということで、各部を中心に人選していただいた。
- ・この会議、それから市民会議において、意見をもらい、素案、基本構想、基本計画を策定し、議会との意見交換しながら完成に向けていく。
- ・この会議の任期期間については基本計画までとなる。
- ・会議のオブザーバーとして総務課長、財政課長、都市建設課長がメンバーとして入っているが、専門的な部分について必要な場合に発言していただく。

【資料による説明】

総合庁舎整備庁内会議資料に基づき説明。

- ・市民が利用する施設を優先的に耐震化しており総合庁舎が最後であること。
- ・昭和44年に建設された庁舎は、劣化が著しく、大きな地震による倒壊の危険性が高い。
- ・バリアフリーが不十分。
- ・耐震改修のみ実施した場合は、根本的な老朽化対策、利便性の向上につながらないことから新たな庁舎整備が必要。(施設の面から考慮した場合)
- ・庁内検討会議 → 庁舎整備検討委員会 → 市長への提案を目指す
(庁内関係部所) (関係団体・公募市民) (基本構想12月、基本計画2月)
- ・建設位置は5か所選定したのち、建設費用等を考慮(会議室機能を福祉センターに求める)し、福祉センター横、もとまち公園の2か所とした。
- ・総事業費は、類似で試算すると35億円となる。

【財源内訳資料による説明】

- ・現状、概算事業費35億円、地方債対象事業費を29億円として作成。
- ・一般単独事業債を活用した場合は、事業費29億円の75%となり、21.75億円の借り入れ、一般財源として13.25億円が建設時に必要となる
- ・市町村役場機能緊急保全事業を活用した場合は、事業費29億円の90%となることから、一般財源は8.9億円となる(4.35億円の差)。
- ・利息を含めた総支払額では、一般単独は起債額が少ない分利息も少ないが、市町村役場機能緊急保全事業を利用した場合は、交付税措置があることから、6.73億円の差が生じることになる。
- ・市町村役場機能緊急保全事業を活用できたとしても、建設時に8.9億円必要であることから、あまり取り入れすぎるとそれだけ膨らむことになる。

【意見発表】①今の庁舎に求めるもの

◇胆振東部地震では停電時の無力さを痛感した。建設中のすみれ団地集会所で

は、停電時に外部発電機をつなげられるようにした。また、来年予定の宿泊交流センターでは、ガス発電機能を備えたLPGガスを利用した冷暖房システムを導入するなど、エネルギーの多様化と災害に強い建築物の建設に力を入れている。新庁舎でもエネルギーの多様化を考慮した方が良い。

◇公共施設で広まりつつあるフリーWiFiの導入が必要だと思う。フリーWiFiがあることによって、観光紹介動画の閲覧、キャリア契約をしていないタブレット等による閲覧が増える。また、来庁者にフリーWiFiがあるなら見てみようという心理も働く。

◇現在の庁舎は断熱性能・空調設備が古く、寒暖の差による体調不良などを防ぐため、省エネ性能を備えた空調設備が必要である。

◇コンビニ交付サービスを導入して利便性を高めてほしい

◇分野が高齢者への対応なのでその視点から、来庁する人のためにも空調設備は重要だと思う。

◇トイレに関して、特に女性用は数が足りていないように感じる。

◇仕事上、相談を受けているが、仕切のみで防音がない状態であり、プライバシー保護に問題がある。個室は必要で、かつ閉鎖的な空間だと明るい話題にならないので、窓を設置したり観葉植物を置いたりなどの工夫が必要だと感じる。

◇高齢化が進むので、バリアフリー化、エレベーターの設置が必要。

◇トイレは女性用だと和式が多いので改善してほしい。また、多目的トイレも必要だと思う。

◇議場に関しては、会議室と併用できるようにしてはどうか。他市町等でもそのようにしているところもある。現在、委員会室の申込みが多いので。

◇資料保存場所の確保(今後、ペーパーレス化が必要)

◇一階のワンフロワー化をして、業務上の結びつきが強い係が隣り合うようにしてはどうか。

◇書庫を一か所にと考えたが、ペーパーレス化ということもあるので状況により判断してほしい。

◇フリーWiFiという話が出ていたが、庁舎内ネットワークも無線化できないか。配線が多くバリアフリーの妨げになる。天井配線でもよい。

◇バリアフリーを進めることはもちろんだが、窓口のあり方を考えることを含め、総合窓口とするのかなどを考えた方がよい。市民が来た時にどういう導線で動くのかを考え、なるべく歩かないで済む方法、総合窓口での対応、2階建てだとしてもエレベーターを設置するなどを考えた方がよい。

◇洋式トイレが1階に1個しかないのは、すぐにでも対応してほしい。

◇冷暖房がないので空調設備は必要。

◇図書館・青年センターを一体化した庁舎とするのか、銀行を入れるとか、これから先のことを見越して、そういった施設と一体化した庁舎ということを考える必要がある。

◇健康推進系の業務上になるが、1階に市民利用できるホールがあればよい。昨年まで、旧保健センターで検診を行っていたが使用できなくなった。福祉センターの大ホール、ふれあいホールのどちらかを使用することになったが、ふれあいホールは、選挙優先、市民利用も多いということで大ホールを使用した。しかし、検診に来る方は高齢者が多く、2階でエレベーターからも遠いことから、検診に来たときに疲れてしまったという声も聞かれた。職員の

健康診断も昨年は旧保健センターを使用しており、今後、大ホールだけでは厳しいと思う。

- ◇空調の話も出ているが設置するだけでなく、机を配置するときに風の通りであったり、日の当たり方であったり、自然エネルギーの利用を考えた方が良い。
- ◇窓口業務をしていて、コピー機や机など、来庁者にとって関係のないものが見えやすい状態である。個人情報もあるので、見えないような配置にした方が良い。
- ◇エレベーターの設置は必要。高齢者が大変な思いをしているところを見たことがある。けがの人が2階以上で手続きが必要な時大変だと思う。
- ◇1階の手続きしやすいレイアウトに関しては、職場の先輩から、窓口で離れた窓口に案内しなければならないということ聞いた。
- ◇車いすの人が通りやすく、転倒事故を防げるように広い通路とした方が良い。

※欠席した委員から提出された意見

- ◆分かりやすい総合案内の整備
- ◆商工会議所や社会福祉協議会など、公共施設の集約
- ◆会議室、相談スペースの確保
- ◆書類を収納できる場所の確保
- ◆トイレを広くするだけでなく、障害者用の個室も必要
- ◆エレベーター、書庫などが必要

【意見発表】②庁舎建設場所

・危機対策課長

- ◇時間の関係上、①(福祉センター横)と④(もとまち公園)以外の人がいれば教えてほしい。

- ◇個人的に②(市民駐車場)が良いと思う。図書館も老朽化などの要因があるので、壊してしまって新庁舎を建設し、図書館を併設するなどが考えられる。そうすることで、東側に病院、西側に市民会館など、市民の利便性向上になると思う。

- ◇質問になるが、福祉センター、もとまち公園に関して、先刻のような大雨が降った時に浸水の恐れはないのか。

・危機対策課長

- ◇洪水に関しては、常磐町と副住町の一部のみが懸念される箇所である。新城町のパンケホロナイ川での氾濫はあるかもしれないが。

怖いのは、土砂災害で、これまで発生していないが、山に近い頼城や西芦別、市内の山に接している地域で、台風19号に類するような大雨が降った場合は可能性がある。

市街地ではオーバーフローはあるかもしれないが、川の氾濫は大丈夫だと考えている。

- ◇100年に一度の災害でも懸念される場所ならば外した方が良いと思った。

◇候補地の中でここは狭いとかはあるのか。

・危機対策課長

◇建て替えを行う時に、駐車場の問題のほか、建設時の資材置き場の確保も必要である。③(市立芦別病院横)は市の土地ではないので、新たに購入するための資金が必要になる。⑤(若葉公園)は面積が小さい。また、複合化という観点からも距離がある。②(市民駐車場)は建てられるけれど駐車場がないので、土地の購入等の費用がかかる

①(福祉センター横)は駐車場をつぶして建てられる。④(もとまち公園)は現庁舎の前の庁舎が建っていたし福祉センターとも近い

・都市建設課長

◇どの案でも庁舎を建てられるが、②、③、⑤は土地の購入が発生するなどの要因がある。①、④は現庁舎を壊した後に駐車場にできるメリットがある。また、建てている間の駐車場の確保についても考えなければならない。①、④であれば空き地があるので大丈夫だと考えられる。

また、①、④であれば、福祉センターにつなげて会議室を少なくできる。やはり面積が大きくなるのは会議室を作るかになる。議場を作るにしても普段は会議室として活用するなど、できる限り無駄なスペースを作らないようにした方が良い。空調設備にしても、自然の風を取り入れることや熱を通さない窓を設置するなどの配慮が必要。

今日出た意見は、準備委員会時にも出ていた内容であるが、構想に盛り込むのは、どういうコンセプトの庁舎にするかということである。

・危機対策課長

◇次回以降の進め方については、事前に資料を示すなど改めて連絡する。

※あらかじめ準備委員会で話した内容を提示すると、その内容に沿った意見となる可能性を考慮し、何も示さずに意見を出してもらったが、大半の意見が現状の市庁舎に無い部分の話に納まったことから、最近建設された庁舎の平面図等をあらかじめ見てもらうなどして開催する。

(終了)